

旧香流苑土地利用意見交換会(第6回) アンケート結果【11/22(金) 〆】

ご意見・ご質問

- 1, 井戸水を防災用に使用する案が出されたが、発災後は下水管の状況が不明のため、住民が勝手にこの水を使い各戸でトイレの水として使用してしまうと、下水の下流地域で汚水が溢れる危険があるため、慎重に考える必要があると思います。
- 2, 意見交換会の最後に、「どんな特徴のある公園にしたいか次回話し合う」と言われたのが気になって考えたことを記入します。私は北まち協みどり自然部会で、北小校区の全ての公園を見て回り、また、上川原公園愛護会、中部一号緑地楽しみ隊の活動にも参加しています。公園の利用についてみた時、昨今の温暖化で、1年の3分の1は暑過ぎて公園は閑散としています。意見交換会では、井戸について、そのままでは利用価値が少ないので、×をつけましたが、もし予算が許されるなら、井戸ではなく、子供たちが安全に水遊びができるせせらぎのある公園ができたら、1年中利用できる公園になるのではないのでしょうか。
- 3, 長久手市の開発指導細則によれば、広場およびみどり等の緑地施設を設けなければならないとされています。今回あらたに設ける長久手市側の公園と事業者側が設ける広場や緑地施設がバラバラに設置されずに出来るだけ一体化すれば、更に機能が大きくなると思われます。ただ、事業者が購入した土地を有効活用する権利も奪ってはなりません。その辺の調整及び計画的評価は、総合評価の審査点で評価すれば良いのではないか？築山をうまくカットできない時は、その部分を民有地でありながら緑地として築山のみどりと一体化することもできるのでは？公募の段階で公園やみどりの一体化が高評価につながると公表すれば実現可能と考えられる。井戸を止めて香流川に流すにしてもその部分は瑕疵のある土地になるのでその部分を広場として市側の公園と一体化するなども誘導してできるのではないか？